

2003 - 2004年度 国際ロータリーテーマ「手を貸そう」
鈴鹿西ロータリークラブ会報

The Rotary Club of Suzuka West Club Bulletin
Rotary International District 2630

会長:河田勝正 会長エレクト:中瀬弾正 副会長:衣斐信行 幹事:五島唯雄 会計:松本裕夫 会場監督:沖俊成
理事:小林充・大野定行・植田幸嗣・田中正明・坪田榮吉および上記の役員 副幹事:下田徳重 副会計:田口栄志
クラブ事務局:〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 番地 鈴鹿商工会議所ビル3階 (平日:10-16時)
電話:0593-83-7077 ファックス:0593-83-0501 e-mail: rsczkwst@opal.famille.ne.jp 会報委員長:松尾茂

ロータリークラブは、事業および 専門職業に携わる指導者が、世界的に結び合った団体で、世界 166 カ国に
122 万人の会員を擁し、人道的奉仕を行い、世界における友好と平和の確立に努力しています。

7月度は、識字率向上特別月間です。

第885回 クラブ例会

会場:鈴鹿商工会議所4階大ホール
日時:2003年7月8日 12:30-13:30
ソング:我らの生業
ソングリーダー:山本行宗会員
ゲスト:鈴鹿国際大学 鈴木基義学長
ビジター:鈴鹿ベイRCの首藤幸丕
ガバナー補佐、伊藤良一会長、
宮崎弘雄幹事、中村悟会長エレクト
SAA:河合繁雄 委員

首藤ガバナー補佐挨拶
鈴木鈴鹿国際大学学長

会長挨拶 河田勝正 会長

本日のゲストスピーカを紹介しします。鈴鹿国際大学の鈴木基義学長です。学長には、当クラブ二度目のご来臨を賜りました。その理由は後述致しますが、卓話で専門分野の「経済学」とその学問的方法論の基礎をなす経済哲学的思考・教育理論の展開、更に教育現場に於ける具体的、個別的、青少年育成の教育の分析、卓見を拝聴致したいと思います。その一例として、前回述べられた如く「千人教育」を提唱。さて前述の理由・根拠は、新世紀に入りながらも日本経済は混迷の最中、デフレスパイラルに陥り、無謀・過度の利潤追求による企業のモラルハザードが社会問題として浮上。さて、地方分権、行政改革という政策に対し、国民にとって最大の関心事は「経済活性化」にあり、その立脚点をどこに求めるか。それは21世紀初頭に於ける日本経済政策論改革の急先鋒に立つ、社会経済学者である鈴木学長の学説を待つ以外何物もない。換言すれば、経済は生き物と言われるなか、インフレーション論等の主張もあり、この二律相反する課題克服の方法論、政策論者は、鈴木学長において他にないと確信するものであります。今日の卓話を十二分に期待すると共に、勉学に勤むことに依り、ロータリアンとして資質の向上に、と考える次第であります。

ゲスト挨拶

首藤ガバナー補佐、伊藤鈴鹿ベイRC会長と、次回IM実行委員長の中村会長エレクトから、個々に挨拶があり、今期IMの具体的打合せと協力の要請がされ、例会後に打合せがあった。

ロータリー一口情報 パスト会長 近藤喜久夫

出席について一口情報させていただきます。ロータリークラブの一員となれば、先ず出席する事が義務であること充分理解して頂きたいと思ひます。私事で恐縮ですが、鈴鹿クラブ12年、鈴鹿西クラブに18年と、30年間在籍し、100%出席を持続しています。この実績を評価して頂き、皆様方が出席する事が重要である事を認識して頂き、本年は一回でも100%出席実現出来る事をお願い申し上げます。尚鈴鹿西RCは、福井パストガバナーの在籍クラブであるから第2630地区80クラブが鈴鹿西クラブの内容を注目している事を会員の皆様にお伝えしたいと思います。

真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

幹事報告 五島唯雄 幹事

近隣クラブ例会変更案内: 鈴鹿ベイRC、四日市RC、四日市南RC

会員メールアドレス変更: 小林会員 hachino@kirei.or.jp 下田会員 tokushige@shimoda.gr.jp

第5回理事会決議報告: (1)大阪国際大会積立金の件: 専用通帳作成承認。(2) 会報作成用機器購入について: フルカラー複合機購入承認。(3) 例会時ピアノ演奏の件: 沖SAA委員長に一任と決定。

地区職業奉仕委員会セミナー開催: 2003年9月23日四日市都ホテル伊勢の間

委員会報告など

オンツアー大阪コンベンション田口委員長: 全員参加を目標に、積立も開始しますので協力を。

松下広報委員長: 「ロータリーの友」を地域に配布予定で、配布先の推薦を依頼します。

坪田家族委員長: 配偶者へのアンケート調査にご協力を。

藤村親睦委員長: 9月16日の甲子園観戦例会について申込書に記入を。

出席報告

7月8日: 会員49名、出席: 44名、出席率89.8%

7月1日例会の補正出席率: 95.9%。 6月24日例会の補正出席率: 91.8%

にこにこボックス 合計: 22千円 印は多額投入頂いた方を指す。

首藤幸平会員(ベイRC) 当分区のガバナー補佐として1年間務めます。よろしく。

伊藤良一会員(ベイRC) 本日もお世話になります。

中村 悟会員(ベイRC) 本日は今年度鈴鹿ベイRC 主管するIM のお願いにお邪魔しました。

河田勝正会長: 鈴鹿国際大学鈴木基義学長のご来臨を賜り大学教育機関を通して真の教育理念、教育哲学拝聴に謝意を表して。ガバナー補佐首藤様、鈴鹿ベイRCの会長、幹事エレクトの方々ご出席有難うございます。

五島唯雄幹事: 首藤ガバナー補佐鈴鹿ベイRC 皆さん、鈴鹿国際大学長を歓迎して卓話を宜しくお願い致します。

堀 敬紀会員: クマリプロジェクトにご協力頂き、有難うございます。

田中八郎会員: 鈴鹿国際大学、鈴木学長を迎え、首藤ガバナー補佐、伊藤鈴鹿ベイRC 会長他ベイRCの皆さんを迎えて。

福井隆男会員: 老人ボケの防止の為、長男が診察をしている日に、頼まれて企業検診に行っている。その為に、火曜日の昼間の例会は欠席がちであるが、地区などの会議でメークアップしているから、なんとか補填している。本年度も多分検診に駆り出されると思うので、偶にしか顔を見せないが、どうか宜しく。

本日の卓話 ボランティアの精神の光と影 鈴木基義 鈴鹿国際大学学長

- 1) 甘くない国際援助の世界—なぜ先進国は開発途上国に援助するのか
- 2) ボランティアなら純粋な援助ができる?
- 3) 環境 NGO は開発途上国の森林を監視 - 航空写真撮影
- 4) なぜ開発途上国は焼畑禁止政策をとるのか。
- 5) ボランティアの落とし穴1: 井戸掘り: 善意と結果は別問題
- 6) ボランティアの落とし穴2: 必要な援助の見極め方入門講座
- 7) ボランティアの落とし穴3: 医療援助 その地域の子供の死亡率の低下
- 8) 失敗が成功を生む - 山岳民族語学教育
- 9) 国連のスローガン「万人に教育を」 Education for All
- 10) 身近なボランティア活動を探そう
- 11) ボランティアとは思いやり

鈴木学長よりニコボックスを多額頂戴致しました。

今後のスケジュール

7月15日: 川岸光男・鈴鹿市長卓話。 7月22日: 首藤ガバナー補佐訪問、クラブ協議会

7月29日: 会員卓話6名。 8月5日: 定時総会 予算承認・決算報告

8月12日: 特別休会 8月19日: 会員増強・拡大月間に因んでインターアクト年次大会報告

会報委員会からのお願い 松尾委員長、南條副委員長、岸本、早川、仲見、十津委員

今年度から、本誌のような会報形式としました。卓話や諸報告は電子情報(メール・FD・CD) で会報委員長もしくはクラブ事務局へお届け下さい。それ以外は掲載をお断りする場合がありますので、悪しからずご了承下さい。

(にこにこボックス・主席報告を除く)

真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか